

### 雪と大山

2020年の大山の初冠雪は11月4日、昨年より11日早く、例年より1日遅い初冠雪でした。ちなみに大山の初冠雪は14キロ離れた大山町役場大山支所から観測された時を言うので、それまでに雪が積もっていても大山支所から見えなければ初冠雪とは言いません。

近年、地球温暖化の影響で大山の積雪量が少なくなっています。今年度の冬の長期気象予報では西日本は気温が低く、山陰は大雪という予報ですがどうでしょうか？



大山には北に「だいせんホワイトリゾート」、西に「榎水高原スキー場」、南に「鏡ヶ成スキー場(休暇村奥大山)」という3つのスキー場があります。

昨年度は記録的に雪が少なく、「榎水高原スキー場」は6日しか営業できませんでした。今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、「榎水高原スキー場」は営業中止、「だいせんホワイトリゾート」は規模を縮小して営業します。

### 秋期 自然ふれあい事業 活動報告

#### ○大山 スピリチュアル 秋の花観察会

開催日：9月19日(土)

大山の植物にまつわる占いなどの体験を交えながら秋の花々を観察。コロナ終息を願い「願掛け岩」の前で枝を投げました。



#### ○大山寺 秋のブナ林と知られざる遺跡を巡る

開催日：10月3日(土)

1300年以上の歴史がある大山寺地域には知られざる遺跡があちこちに隠れています。紅葉しつつあるブナの森で遺跡探しを楽しみました。



#### ○癒しのオルガニートと山陰の奥入瀬「木谷沢」

開催日：10月28日(水)

せせらぎの音を聞きながら巨木の下で好きな曲を選んでオルガニートを演奏しました。オルガニートの優しい調べと美しい紅葉に癒される一日でした。



木谷沢のカツラ巨木  
10月28日



10月3日  
発見した五輪塔の一部

※11月22日に予定していました「大山寺 金門周辺の謎の遺跡を探る」は、荒天のため中止になりました。

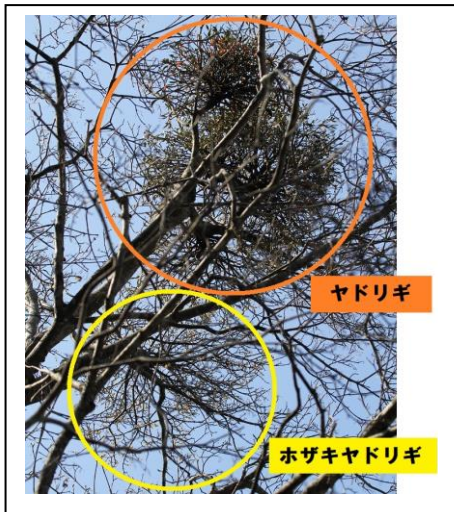
※上記イベントは令和2年度(補正予算)国立・国定公園への誘客の推進事業費補助金の交付を受け開催しました。

■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。

予約なしでも参加できるイベントもあります。ご参加をお待ちしています。

裏面にイベント情報を掲載しています。

# ヤドリギ 厳寒の大山で緑を保つ生命の木



葉をすっかり落とした大山の森で、ミズナラやブナの枝や幹にもこもこした緑の枝の塊が目立つようになります。その枝の塊の正体が半寄生植物ヤドリギです。

ヤドリギはヤドリギ科の常緑小低木。日本だけでなく北半球の落葉広葉樹林に広く分布します。雌雄異株で、2～3月ごろに開花し、10～12月ごろに薄黄色の果実を付けます。大山には薄赤い実を付けるアカミノヤドリギも存在しています。※左の写真はアカミノヤドリギ。

このほんのり甘い果実には、非常に粘りがある果肉に包まれた種が入っており、鳥が食べても消化されずに出てきます。それが枝や幹にくっくと根を伸ばし寄生します。地面に落ちた種は発芽することができません。果実はキレンジャクやヒレンジャクなど冬鳥に好まれますが、雪解けまで枝に多く残っているのを見ると、多くの鳥には魅力がないのでしょうか。

ヤドリギはプロペラのような緑の葉をつけ、光合成を行います。それだけでは養分が不足するので寄生した木から水や養分をもらって生活しています。寄生された場所はぼこぼこしたこぶ状になります。日当たりが悪い場所に寄生したヤドリギは枯れてしまうらしく、こぶだけが残ったブナなどがよく見られます。

## ホザキヤドリギ

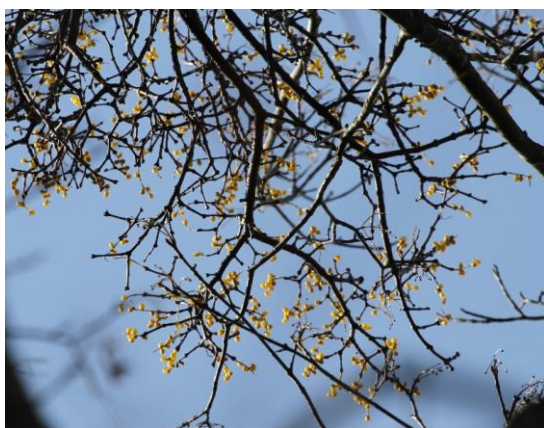
大山にはもう1種類、冬に落葉するホザキヤドリギが生育しています。黄色い小さな実を穂のようにつけるヤドリギで、中部地方以北の寒いところに多く見られる植物です。近年、大山でも生育していることが確認されました。調べると大山寺集落内でも見つかります。梢の高いところに寄生し、冬に葉を落とすので目立たないこと、また実が1月には落ちてしまうことが、今まで確認できなかった原因でしょう。初冬、黄色い実をいっぱい付けた枝の塊を高木の梢に探してみてください。



オレンジ色の実が

アカミノヤドリギ

黄色い実がホザキヤドリギ



上の写真のホザキヤドリギを拡大。  
黄色い実が見える

厳しい寒さでも常緑のヤドリギは、古くから「不死・活力・肉体の再生」を表す神聖な木とされました。古代北歐ではヤドリギの木の下に女性には、だれでもキスをすることが許されたそうです。拒むと結婚のチャンスを逃すとか。現在ではキスしたカップルは永遠に結ばれると信じられ、魔除けや幸運のシンボルとしてヨーロッパのクリスマスで飾られています。また古代日本では「ほや」と呼ばれ、延命長寿を願って枝を髪に刺すという風習があり、万葉集にもそのことを詠んだ歌が記されています。

冬の大山の森で、枝先にひっそり息づくヤドリギをそっと見上げてみませんか。幸運が舞い込みますように。

# 「大山(ダイセン)」を冠する植物



名前に大山(ダイセン)がつく植物を集めてみました。どれだけご存じですか？

	<p><b>ダイセンキシミレ</b></p> <p>中国地方の大山、蒜山と道後山などに生育する小形の多年草です。オオバキシミレの変種で、高さ10センチ程度とより小形で地下茎が太く短いことで区別されます。大山山頂に多い植物ですが、春に大山寺付近でも黄色いかわいい花を見つけることができます。</p>
	<p><b>ダイセンクワガタ</b></p> <p>大山のガレ場(岩場の崩れた斜面)に生育する多年草です。高さは10-20cm。葉は対生で浅く切れ込みが入った羽状の三角型をしています。花期は6-7月。かわいらしい淡紫色の花を多数つけます。クワガタとは果実に付着する萼片を兜のくわ形に見立てたもので、ダイセンクワガタは中国山地に分布するミヤマクワガタの変種です。</p>
	<p><b>ダイセンオトギリ</b></p> <p>北陸から中国地方の高地で尾根筋の乾燥地に生える小型のオトギリソウです。草丈 20cm 前後で6-8月に黄色の花を次々に咲かせます。オトギリ(弟切り)とは、この植物を使った秘薬の製法をばらした弟を切り殺したという伝説から。</p>
	<p><b>ダイセンアシボスゲ</b></p> <p>鳥取県の大山(1729メートル)だけに自生し、絶滅したとみられていたスゲ属の多年草です。2011年に76年ぶりに再発見されました。高さ約30センチまで成長し、垂れ下がった丸い穂が特徴。スゲの仲間は種類が多く見分けるのが難しいです。 ※環境省絶滅危惧 I A 類(絶滅の危険性が極めて高い)</p>
	<p><b>ダイセンミツバツツジ</b></p> <p>ユキグニミツバツツジの変種として分類されるツツジ科の落葉低木です。大山が基準種ですが中部地方から中国地方まで広く分布しています。5月ごろに濃い紫紅色の花を輪生する三枚の葉の枝の先に多数咲かせ、大山の春の森を彩ります。</p>
	<p><b>ダイセンヒョウタンボク</b></p> <p>ブナ林内の岩場に多いスイカズラ科の落葉低木です。近畿から中国地方の山地に多いアラゲヒョウタンボクの垂種。赤い実が2個ヒョウタン状にくっついて実るのでヒョウタンボクと呼ばれますが、ダイセンヒョウタンボクやアラゲヒョウタンボクは分かれて実ります。</p>

## 番外編1: **ダイセンオダマキ**

大山の山頂部やユートピアのガレ場で散見する小型のヤマオダマキをダイセンオダマキと呼んでいました。現在はヤマオダマキで統一されています。園芸種のダイセンオダマキはヤマオダマキとオダマキ(ミヤマオダマキの園芸種)の雑種で、大山寺周辺で見つかったものらしいです。

## 番外編2: **ダイセンキャラボク**




大山山頂付近のキャラボク大群落をダイセンキャラボクといい、固有の植物名ではありません。ダイセンキャラボクは特別天然記念物に指定されています。キャラボクはイチイの変種。いつか特集しますね。



# ーイベント情報（1月～3月）ー



## ■自然公園財団のイベント

<p><b>○スノーシューで行く大山・幻の滝(稚児滝)</b>                  開催日:1月9日(土)9:00~12:00                  会場:豪円山周辺                  集合場所:自然公園財団事務所前                  参加費:-1500円 <b>無料</b></p>	 <p>かつて呼瀧山と呼ばれた豪円山。その幻の滝を見に行きます。垂直の岩壁に張り付く氷が神秘的な美しさ。大山の隠れた名所です。スノーシュー歩行距離約2キロ                  定員15名</p>
<p><b>○幻の御旅所?から絶景を見るスノーシューツアー</b>                  開催日:1月23日(土)9:00~12:00                  会場:大山町 大山寺金門周辺                  集合場所:自然公園財団事務所前                  参加費:-1500円 <b>無料</b></p>	<p>かつて巨大な扁額が掲げられた金門周辺には忘れ去られた遺跡が点在します。知られざる遺跡にスノーシューで挑戦。風穴と呼ばれた巨大な氷室の底に降りたり、御旅所跡と思われる高台の平坦地から美保湾を見下ろします。                  定員:15名</p>
<p><b>○スノーシューで行く 願掛け地藏へ願いを込めに</b>                  開催日:2月6日(土)9:00~12:00                  会場:金門・賽の河原・寂静山周辺                  集合場所:自然公園財団事務所前                  参加費:-1500円 <b>無料</b></p>	<p>かなえない願いはありますか?大山に伝わる願掛けの方法で、願掛け岩とそのそばに佇む地藏まで願いを込めに行きましょう。                  スノーシュー歩行距離約3キロ。                  定員15名</p> 
<p><b>○大山の森で冬芽探し</b>                  開催日:2月27日(土)9:00~12:00                  会場:大山寺阿弥陀堂周辺の森                  集合場所:自然公園財団事務所前                  参加費:-1500円 <b>無料</b></p>	 <p>春の気配を探しにスノーシューを履いて大山の森を散策します。膨らみ始めた冬芽やつぼみを観察し、植物たちの冬越しの知恵を学びます。                  スノーシュー歩行距離約2キロ                  定員15名</p>

※令和2年度(補正予算)国立・国定公園への誘客の推進事業費補助金の交付を受けましたので、イベント参加費を**無料**といたします。ぜひご参加ください。

一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地



〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33  
 大山ナショナルパークセンター 1階  
 TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370  
 URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>

